

令和 6 年 5 月 30 日  
全日本豊事業協同組合  
事務局

## 第22回通常総代会開催

令和 6 年 5 月 16 日午後 1 時半よりホテルグランドヒル市ヶ谷におきまして、第 22 回全日豊通常総代会が開催されました。



大平専務理事の司会の下、最初に公務御多忙の中、たたみ振興議員連盟より河野太郎副会長と有村治子幹事長に御挨拶を頂きました。特にデジタル大臣である河野議員が早々に SP を帯同されて登場された時には、会場は緊張感に包まれました。



挨拶に立つ河野太郎衆議院議員(たたみ振興議員連盟副会長/デジタル大臣)と有村治子参議院議員(たたみ振興議員連盟幹事長/両院議員総会長)

河野副会長は「豊業界に対して行政ができる事はしっかりとサポートさせて頂く」と述べられました。現職大臣のお立場にもかかわらずたみ振興議員連盟の副会長を御快諾頂きました事は、豊業界にとっても大変心強い事です。また有村幹事長からは、「昨年6月には各省庁との勉強会、本年6月にはたみ振興議員連盟の再出発となる総会を開催できた」と述べられ、石河理事長を中心に全日豊が、豊業界界を代表する組織としてしっかりと役目を果たしていると昨年度の活動を評価されました。

続いて来賓として御臨席頂きました、経済産業省製品生活課潮崎室長、そして農林水産省農産局果樹・茶グループ三村課長補佐からも御挨拶を頂き、両庁共に昨年度全日豊との間で、業界に係る行事のやり取りが何度か行われている事をお話し頂きました。同じく石河全日豊理事長も挨拶し、「御忙しい中、多くの来賓の方々にお越し頂いて総会を開催できる事に感謝したい」と御礼を述べました。



左より経済産業省潮崎室長/農林水産省三村課長補佐/全日豊石河理事長

挨拶の後に功労者表彰があり、代表して千葉県の池田雅晴さんに石河理事長から表彰状と記念品が手渡されました。



功労者表彰を受ける池田氏

議長の新井田氏・副議長の池田氏

続いて議案審議に移りました。満場一致をもって新井田智氏が議長に、池田雅晴氏が副議長に選任されました。

最初に、議事を開いて議決を行うために必要な定足数の確認がありました。定款第48条により、総代会は、総総代の半数以上の出席により成立します。本日は総総代100名のうち本人出席が38名、そして書面による議決権行使の提出が32名(32名全てが全議案に賛成○)ありました。また委任状が22通あり、そのうち受任者無記名(理事に振り分け)が18通ありました。定款第47条によれば代理人が代理できる総代の数は1名となっております。本日理事が19名(一人は議長のため18名)が出席しましたので、無記名の委任状18通をすべて受任しました。総代会成立のための有効定足数は38+32+22の合計92名で、総総代の半数以上となり、よって総代会は有効に成立しました。

また、定款第48条により、議案は有効議決権数の過半数で決するものとなっております。有効議決権数は37(38-1議長)+32+22の合計91となり、過半数の46名により可決となります。全議案賛成の議決権行使が32票と執行部理事票18票の50票で、この時点ですでに過半数(議案は成立)となりました。

まず議長より、第1号議案から第3号議案までは関連議案のため一括審議したい旨の説明があり了解された。

第1号議案 令和5年度事業報告承認の件

第2号議案 令和5年度決算報告承認の件

第3号議案 剰余金処分(案)承認の件(監査報告)

令和5年度事業報告を石河理事長、岡田総務委員長、吉金品質管理委員長、的場事業委員長、大亀PDマネージャー、堀田技能推進委員長がそれぞれ報告。続いて岡田総務委員長が決算報告および剰余金処分案を朗読、さらに谷口監事が監査報告を行った。

議長がこれを議場に諮ったところ、神奈川県の新原総代より3項目の質問があった。

①8月に臨時総代会まで開いて的場さんを理事に推薦した理由は何か。

昨年の総代会において、理事会に依る理事推薦枠が2名新たに承認され、定款が変更された。これを受け、すぐにでも優秀な人材を理事に加えて運営する必要があった、さらに全日暈がこれから若い人材を巻き込んで活発な事業活動が必要であることも、的場さんを推薦した理由である旨、大平専務理事が回答した。

②tata事業が組合員の加入しているメリットとは考えられない。

全国で開催された品質管理セミナーやブロック会議に出席した折に、全日暈のtata事業について賛同・称賛や今後も続けてほしいという生の声を多く聞いている。今期も12,000枚近いハガキが発売された実績は、一人当たり6枚の協賛×2,000名の合計数とほぼ一致している。10回を迎えた今、全日暈加入メリットとして確実に浸透しており、

現に各支部で tata に合わせたキャンペーンを展開して広告宣伝し、販売促進につなげている県がいくつもある、と石河理事長が回答した。

③堀田さんを技能推進委員長に推した理由が分からない、人事は公正に行って欲しいと考える。

この質疑には石河理事長が、執行部各委員長の任命権は理事長にあること、当然ながら適任であると判断した上で任命している。中小企業等協同組合法をよく理解してから質問頂きたいが、定款に法り、公正な組合運営の下で選任している、と回答した。



引き続き萩原総代より、

④今期から給与がゼロになりすべて雑給に記載がある事、また⑤特筆すべき事項に記載のある売掛金の齟齬の解消について、それぞれ説明を求める質疑があった。④について、給与については前期は途中(令和4年8月)まで在籍した前社員の「給与」であり、現在は事務員の雇用形態がパートのため、経理としては「雑給」としている、経理的に至極当然の勘定科目である旨、石河理事長が回答した。

⑤売掛金の余剰齟齬を雑収入として処理した件については、長年経理ソフトが使用されてきた中で、売掛金が10万円ほど多すぎる、つまり余分に存在する事を突き止めた。経理ソフト上でおそらく長年に亘り持ち越されて来た数字であり、もう一つの販売管理ソフトにおいてはこの売掛金が無く、相手先が不明であるため、この余剰分を雑収入として計上し、不明の売掛金齟齬を無くした、と石河理事長が回答した。

議長が質問への回答後、これらの議案を議場に諮ったところ、賛成多数により可決した。

次に、議長より第4号議案から第5号議案までは関連議案のため一括審議したい旨の説明があり了解された。

第4号議案 令和6年度事業計画(案)承認の件

第5号議案 令和6年度事業予算(案)承認の件

令和6年度事業計画を大平専務理事、岡田総務委員長、吉金品質管理委員長、的場事業委員長、大亀PD マネージャー、堀田技能推進委員長が各々担当する事項の説明を行い、令和6年度事業予算(案)を岡田総務委員長が原案を朗読した。

議長が第4号議案、5号議案を議場に諮ったところ、賛成多数により可決された。

第6号議案 定款の一部改正(案)承認の件

第6号議案(別表2)の総代数の変更について、石河理事長がここ数年間の組合員の退会により、組合員と総代数の割合が不均衡になっている事態を正常化するものである旨説明を行った。

議長が第6号議案について議場に諮ったところ賛成多数により可決された。

議長より第7号議案から第11号議案は関連議案のため一括審議をしたい旨の説明があり、了解認されたため、佐々木副理事長が原案を朗読した。

第7号議案 令和6年度賦課金徴収方法等(案)承認の件

第8号議案 令和6年度における手数料、使用料の最高限度額(案)承認の件

第9号議案 令和6年度組合借入金最高限度額(案)承認の件

第10号議案 役員報酬(案)承認の件

第11号議案 時期総代会開催地決定の件

議長がこれらの議案を議場に諮ったところ、賛成多数により可決された。

以上をもって第22回通常総代会の議案の審議をすべて議了したので、藤本副理事長が閉会を宣言した。



講演する(株)国枝 國枝幹生氏

総代会閉会后、休憩を挟み(株)国枝 國枝幹生さんによる講演が行われました。畳業界の現状・今後の需要推測から、国枝さんの取り組みをお話し頂きました。中でも和室が減少するどころではなく、近い将来は存在する和室も多くが空家になるという、厳しい未来が待っているようです。お客様を「和室」に限定することなく、「人」に対して畳を販売することの必要性を話されました。

会場を移して、6年ぶりとなる懇親会が開催されました。



冒頭、金子恭之衆議院議員(たみ振興議員連盟会長/自民党組織運動本部長)が挨拶に立ち、「私の地元はイグサの産地であり、畳には特別な思いがある。畳業界



が団結する事は嬉しい事だ、惜しみなく私にできる事を有村幹事長の下でさせて頂くつもり」と述べられました。有村治子参議院議員(たたみ振興議員連盟幹事長/自民党両院議員総会長)も「今期は何度も全日豊さんとやり取りして、官庁の勉強会や議連の再スタートを切る総会を開催できた。これからは金子会長がいらっしゃるので心強い」と、挨拶されました。

続いて今期よりたたみ振興議員連盟の事務局長に就任した熊本県の長馬場成志参議院議員も、「金子先生の下で、地元熊本の豊について勉強させて頂きたい」と、議連に加入された抱負を話されました。



馬場成志たたみ振興議員連盟事務局長      米花理事による乾杯

その後、前理事長の米花理事の乾杯で懇親会がスタートしました。思えば、米花前理事長が就任された時は、議連の保岡会長が亡くなられて会長不在、その後コロナ禍に突入し、在任6年間で一度も議連総会や総代会の懇親会が開けませんでした。その分、特別な思いがあったのではないかとお察します。

懇親会には60名程が参加しました。すべての来賓・賛助会員のご紹介と挨拶があり、皆さん多いに親交を深める事ができ、盛況のうちに閉会となりました。



左より(一社)日本豊産業協会会長田会長、賛助会員の頃安氏、千葉氏、土倉さん

総代会および懇親会出席者

総代 38名

宮城	佐々木 誠喜	山梨	広瀬 久
	小西 良彦		宇佐美 真一
秋田	佐々木 誠一		堀田 登喜夫
	小田原 正典	岐阜	石河 恒夫
福島	中島 三喜		宮沢 礼秀
	松浦 茂和	京都	中野 秀治
茨城	塙 宏文		藤本 正
	澤畑 寿秀		細川 哲夫
	高津 達夫	大阪	吉金 英明
	冨永 重行		小池 元
群馬	半沢 雅之		唐川 貴行
埼玉	熊木 義幸	兵庫	幸尻 明浩
千葉	米井 仁	和歌山	谷口 秀雄
	池田 雅晴	鳥取	徳田 浩司
東京	青木 信男	高知	岡添 雅也
神奈川	神崎 征美	福岡	久保田 義秋
	萩原 真澄	長崎	荒木 敏昭
新潟	新井田 智	沖縄	岩本 久和
富山	村田 実		新城 忍

総代以外 6名

埼玉	岡田 暁夫
三重	大平 雅章
滋賀	的場 貴之
広島	米花 俊明
兵庫	大亀 亨
岐阜	松葉 清幸

来賓(敬称略)

衆議院議員	たたみ振興議員連盟会長 (自民党組織対策本部長)	金子 恭之
衆議院議員	たたみ振興議員連盟副会長 (デジタル大臣)	河野 太郎
衆議院議員	たたみ振興議員連盟副会長	棚橋 泰文(代理)
参議院議員	たたみ振興議員連盟幹事長 (両院議員総会長)	有村 治子
衆議院議員	たたみ振興議員連盟副幹事長 (国家公安委員長)	松村 祥史(代理)
衆議院議員	たたみ振興議員連盟副幹事長	丹羽 秀樹(代理)
参議院議員	たたみ振興議員連盟事務局長	馬場 成志



衆議院議員	たたみ振興議員連盟事務局次長	保岡 宏武(代理)
経済産業省	製造産業局 生活製品課 住宅産業室 室長 課長補佐	潮崎 雄治 草深 志保理
農林水産省	農産局 果樹・茶グループ 地域作物第2班 課長補佐 係長	三村 真梨子 土屋 香菜
国土交通省	住宅局 住宅生産課長	山下 英和
(一社)日本畳産業協会	会長	長田 久富
全国中小企業団体中央会	政策推進部長 労働政策部	菱沼 貴裕 館 ひかり
(一財)日本規格協会グループ	研修ユニット研修チーム 研修ユニット研修チーム 講師	小野寺 勉 小高 伸久
(一財)ベターリビング	住宅部品企画部 部長	西本 賢二 守屋 宏美
熊本県い業生産販売振興協会	事務局長	吉住 健一
熊本県藺製品卸商業協同組合	理事長	松永 賢一
員外監事		四方 茂

#### 賛助会員(敬称略)

押出発砲ポリスチレン工業会		松尾 豊
株式会社カンベ		近藤 貴之
KLASS 株式会社	代表取締役	頃安 雅樹
東海機器工業株式会社	取締役	千葉 修司
株式会社トクラ	代表取締役社長	土倉 佳奈
山中産業株式会社(東京)		高瀬 豊

※総代会資料に二か所訂正箇所があります。

- ①P5 イ.理事会 第7回 参議院銀会館 を 参議院議員会館 に訂正
- ②P24 役員名簿 最下段 相談役 を 理事 に訂正、担当欄に 相談役 を追記